





世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	  



〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

15世紀以降のアメリカ大陸(特にラテンアメリカ)の植民地化は、スペインとポルトガルによってほぼ独占的に行われた。その理由は、1492年のコロンブスによる新大陸への到達の翌年、スペインが、ローマ教皇であったアレクサンデル6世に要請して、子午線(アフリカ大陸ヴェルデ岬西方560 km)を境界線として、西側の発見地をスペイン領とする教書を得て、南北両アメリカ大陸のすべてについて領有できる体制を組んだからである。これに対してポルトガルは抗議したので、1494年にスペイン、ポルトガル両国間で ① 条約が締結され、子午線を西側にさらに150 km 移動させ、その東側の発見地をポルトガル領とすることとなった。その結果、現在のブラジルの東側の一部がポルトガル領となり、そこがポルトガルの植民地政策の基礎となった。

その後、スペインのアメリカ大陸への探検は、16世紀前半には極めて苛烈な征服、侵略へと転化し、征服、侵略を行うスペイン人は、コンキスタドール(征服者)と呼ばれた。コンキスタドールのうち、② がパナマ地峡周辺地域を征服し、次いで ③ がメキシコのアステカ王国を、④ がペルーのインカ帝国を計略と先住民の酷使、惨殺によって征服した。そのなかで、たとえば ④ は、少数の兵力でインカへ遠征を行い、内部紛争を契機としてインカ帝国皇帝を処刑している。^⑦

コンキスタドールの主な目的は、先住民に対する強制的なキリスト教への改宗^①と、金銀、財宝の収集、つまり黄金郷(エル=ドラド)の発見であった。これらの征服による影響としては、少なくとも以下の3つがあげられる。

第1に、ポトシ銀山などから採掘された大量の銀がヨーロッパに送られ、ヨーロッパの銀価が下落し、物価が騰貴するという現象が発生し、世界経済にも多大な影響を与えた。^⑦

第2は、ヨーロッパでは見たこともなかった農産物、たとえば、トウモロコシ、ジャガイモ、サツマイモ、トマトなどがヨーロッパに流出し、世界に広まったことである。

第3に、ヨーロッパから天然痘、はしか、チフスなどの伝染病がアメリカ大陸に持ち込まれたが、ラテンアメリカの先住民はそれらに対する免疫をもっていなかったために、人口が激減することとなった。

このような植民地化からラテンアメリカが解放されるためには、フランス革命などの市民革命によってヨーロッパの宗主国が動揺する時期まで待たなければならなかった。1804年に南米で最初に独立したのはフランス領植民地であったハイチであり、フランス革命の理念に共鳴した ⑤ を指導者とするものであった。

一方、南アメリカのスペイン領植民地では、スペイン皇帝の専制政治に対する不満が膨らんでいた。南アメリカ生まれの白人であるクリオーリョは、本来地主であり経済的な受益者であったはずだが、スペイン皇帝に反発を強めていたのである。その後、ベネズエラ出身のクリオーリョであるシモン=ボリバルが現れ、クリオーリョ以外の支持も得て支持基盤拡大に努力した。結局、彼は1811年の ⑥ ベネズエラ独立宣言に参加し、1819年に大コロンビア共和国、1825年にボリビアなどを独立させることになった。なかでも 大コロンビア共和国は、現在のラテンアメリカの4カ国を中心とした大国であり、⑦ シモン=ボリバルが、いかに大きな共和国の独立をねらっていたかがわかる。当初彼は、君主制の導入には明確な反対意見をもっていたというが、そこには過去に渡仏した際、ナポレオンの戴冠式に出席したことが原因で、これを嫌悪していたという事情がある。彼は、1830年に大コロンビア共和国が解体した後に引退したが、国家名やあらゆる機関に彼の名前を残そうとする努力がなされており、現在でもその傾向は変わらない。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問2 文中の下線部⑦～⑨に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア) 下線部⑦に関して、インカ帝国皇帝の後継者争いで兄弟が対立したと言われるが、いったん皇帝の地位についた兄に対し蜂起して彼を幽閉し、その後自らも処刑された第13代インカ帝国皇帝は誰か。

- (イ) 下線部㉑に関して、当時、非キリスト教徒のアメリカ先住民は「半人間」であるということが思想上正当化されていた。これに対して1537年にローマ教皇パウルス3世は、「新大陸の人間は真正の人間である」と宣言し、先住民に対する非人道的対応を改めるよう努力したが、実現しなかった。その後、教皇宣言を否定する神学者と1550年にバリャドリッドで論争を行い、また『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著して、先住民を擁護したスペインのドミニコ派修道士は誰か。
- (ウ) 下線部㉒に関して、一方では西欧諸国での商工業の繁栄をもたらし、他方では南ドイツの銀を独占していた大富豪フッガー家や南欧港市商業の没落を決定的にした経済現象は、何と呼ばれているか。
- (エ) 下線部㉓に関して、クリオーリョ以外に南アメリカの住民を構成していた、白人と先住民(インディオ)との混血者で、クリオーリョによる独立運動に協力した人々は、何と呼ばれているか。
- (オ) 下線部㉔に関して、1821年にシモン=ボリバルによって、「南部地区」として大コロンビア共和国の一部となり、1830年にベネズエラとともに独立した国家は何か。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

エーゲ海沿岸地域では、前 2000 年頃から前 1200 年頃にかけてオリエントの先進文明の影響を受けた青銅器文明が栄えた。その後、暗黒時代と呼ばれる混乱期を経て、ギリシアでは、前 8 世紀頃から各地で人々が特定の村落地域に定住し、村落は政治面、軍事面で統合され、ポリスと呼ばれる独立した都市国家が成立した。ポリス成立期は、貴族による騎兵が戦争の主役であり、政治形態も貴族だけが参加する貴族政であった。その後、重装歩兵部隊が軍隊の主力となるにつれ、商工業の発達により富裕となった平民も参戦できるようになり、彼らは参政権を主張して貴族と対立し、貴族政が動揺した。

ポリスの中で政治的、文化的に最も重要な役割を果たしたのは、アテネであった。前 7 世紀には、立法者 ① によって慣習法が成文化された。前 6 世紀初頭、ソロンは、貴族と平民との間の調停者として改革を断行した。すなわち、これまでの負債を帳消しにして、身体を抵当とする金銭の貸借を禁止することで、市民が ② になることを防いだ。また財産額に応じて市民を 4 等級に分け、等級に応じて参政権や兵役義務を定めた。また政治制度の面では 400 名からなる評議会を設置した。

その後、ペイシストラトスが、民衆の支持を背景にして前 561 年に非合法的に独裁権を握り ③ となった。彼は、貧しい農民たちに土地を分配して中小農民を保護し、自立的市民への成長を助け、またアテネの美化や文化事業も積極的に行い、市民の愛国心と誇りを高めようとした。しかし、彼の死後、彼の 2 人の息子は暴君となった。

その後も貴族と民衆の争いは絶えず、民衆派の指導者クレステネスが前 508 年に改革を断行し、民主政の基礎を確立した。そこでは、貴族がよりどころとしていた血縁に基づく 4 部族制から、居住地区(デーモス)を基盤とする 10 部族制とし、この新しい部族から各 50 名ずつを選出した五百人評議会を設け、また各部族から 1 名ずつの将軍を選出させるなど、この 10 部族制を行政や軍事の単位とした。また、③ となる危険のある人物の名を市民が投票し、その数が一定数を超えた場合、10 年間国外へ退去させられる制度、いわゆる ④ を創設した。

その頃、小アジア沿岸のギリシア人植民市は、アケメネス朝ペルシアの領土となり、兵役や貢税の義務を課されていた。前 500 年のイオニアの反乱の際に、アテネが援軍を送ったことから、ペルシアはその報復としてギリシア本土を討とうとし、ギリシア諸ポリスとの間にペルシア戦争が始まった。戦争は、重装歩兵や海軍の軍艦の漕ぎ手を構成する市民の活躍で、ギリシアが勝利した。

戦後もペルシアの襲来に備える必要から、アテネは ⑤ 同盟を作って加盟ポリスから艦船、兵員または軍資金を提供させ、指導的な役割を果たした。そして将軍ペリクレスの時代には、アテネは海軍国として発展し、内部では民主政が完成された。ほとんどすべての官職が市民に開放され、大多数の役人は抽選で選出された。裁判の陪審員も市民から抽選で選ばれた。

しかし、アテネが前 431 年からのペロポネソス戦争においてスパルタに敗北したことから、⑤ 同盟も解体して、アテネの繁栄は終わった。この戦争は、多数のポリスを巻き込んだため、ギリシア全般に及ぶ農地の荒廃、中小農民の没落が著しく、しかも戦後も慢性的にポリス間で戦争状態が続き、ギリシアのポリスは衰退していった。そして、前 338 年、北方の新興国マケドニアの前にギリシア連合軍は敗れ、マケドニアを中心とする全ギリシアの同盟の下、マケドニアに支配されることとなった。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問 2 文中の下線部⑦～⑩に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア) 下線部⑦に関して、トロイアの遺跡を発掘するなど、ミケーネ文明の存在を証明したドイツの考古学者は誰か。

(イ) 下線部⑩に関して、商工業や貿易が発展し貧富の差が生じた原因には貨幣経済の発達がある。初めて鑄造貨幣が造られた小アジアの王国は何か。

- (ウ) 下線部㊸に関して、広くオリエント諸国を旅行して、地理や諸民族の風俗や歴史を調査し、広大な視野に立ってペルシア戦争の歴史を書き、「歴史の父」と呼ばれている人物は誰か。
- (エ) 下線部㊹に関して、現代民主政が代議制であるのに対して、ギリシアの民主政の特徴は直接民主政にある。自由民中の全成年男性で構成される政治の最高機関は何と呼ばれるか。
- (オ) 下線部㊺に関して、アレクサンドロス大王の東方遠征以降の約 300 年間は、ヘレニズム時代と呼ばれる。この時代に、ポリス中心の考え方に代わって、ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする思想が知識人の間に普及したが、その考え方とは何か。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

隋の時代に始まる科挙は、試験による官吏登用制度であった。能力のある良民の男子は、科挙を受験して合格すれば、出自や身分に関係なく官吏になることができた。科挙は、当初は世界的にみても先進的な制度であった。科挙官僚の存在は、門閥貴族による高級官職の独占を防ぎ、君主の権力を強化する効果もあった。

歴代の王朝は、元朝時代の一時期を除き、科挙の制度を採用した。清も科挙を行ったが、制度の硬直化が進み、弊害も目立つようになった。

雍正帝の時代、ある年の科挙の問題に「維民所止」という語句が出題された。この試験の関係者は、死刑を含む厳しい処罰を受けた。「維民所止」は、儒教の古典の一つ『詩経』の語句だが、出題者がわざわざこの四文字を選んだ理由は「雍正」の二文字の頭を切断して「維止」とし雍正帝を呪うためだ、と当局に疑われたのである。「文字の獄」と呼ばれるこの種の筆禍事件は、昔の中国ではしばしば発生した。科挙においても、出題者や受験者は筆禍を恐れ当たり障りのない問題や答案を作成する傾向が強まった。

科挙の試験は非常な難関であった。最終試験に合格して「進士」になるのはもちろん、その前の地方試験に合格し最終試験を受ける資格をもつ「挙人」になれる者すら、ほんの一握りだった。受験者は、幼い時から膨大な量の古典を暗記し、王朝が公認する学派の解釈にそって答案を作成するため、猛烈なつめこみ教育を課せられた。合格できぬまま年を取り、生涯を終える者も多かった。運良く合格して高級官僚になれたとしても、科挙の受験勉強で頭の中につめこんだ古典の知識は、直接世の中に役立つ実学ではなかった。

清代中期の小説の1つで呉敬梓が著した『儒林外史』では、科挙制度の形式化や、科挙官僚の腐敗ぶりが諷刺されている。中華民国初期に『狂人日記』や『阿Q正伝』など中国社会を諷刺する小説を発表した ① も、短編小説『孔乙己』の中で、科挙に合格できず貧窮した読書人の悲惨さを描いた。太平天国の乱を起こした洪秀全は、若いころは役人になるため科挙を何度も受けたが、そのたびに落ちて失望し、後に清朝にそむいて挙兵した。

清末の政界で活躍した人物は、科挙の受験経験者が多い。アヘン戦争でイギリス^㉑に対抗し、平英団への対処を行った第8代皇帝の道光帝から欽差大臣に任じられ、アヘン取締りなどを中心的に行った林則徐も、太平天国の乱の時に湘軍を組織して鎮圧に功績をあげた ② も、最高為政者として洋務運動を推進して日清戦争の講和の時に来日した ③ も、「戊戌の変法」を断行しようとした ④ も、進士合格者であった。ロシアの脅威に対する内陸の辺境防備の強化を重視した洋務派官僚の ⑤ や、④ の弟子で「戊戌の変法」の失敗後に日本に亡命した梁啓超は、進士になれず、挙人のままで終わった。

清末、西洋列強や日本の脅威に対抗するため、中国の近代化を推進すべきであるという声が高まった。しかし、清末の政治家や知識人の大半は、もとは科挙の受験生だった。幼時から漢文の古典のつめこみ教育を受けたため、西洋の新しい知識や自由な思考法にうとかった。清末の洋務運動は、中国の伝統的、儒教的な体制は変えず、西洋の技術や知識を利用するという「中体西用」の精神にもとづく不徹底な改革であった。清は洋務運動を推進したにもかかわらず、清仏戦争、日清戦争、義和団事件などで敗北を重ねた。^㉒

1905年、清朝はすでに時代遅れとなっていた科挙を廃止した。そして近代的、西洋的な知識をもつ官僚を育てようとしたが、もはや手遅れであった。1911年に辛亥革命が勃発した。翌1912年、清朝は滅亡し、アジア最初の共和国である中華民国が成立した。この革命の中心人物の一人で、中華民国の臨時大總統^㉓となった孫文は、少年時代にハワイに渡り学校教育を英語で受け、後に西洋医学を学ぶなど、旧来の科挙の受験生とは全く違うタイプの知識人だった。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われるものを下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

〔語群〕

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| A 洪昇 | B 譚嗣同 | C 蒲松齡 | D 西太后 | E 黄宗羲 |
| F 曾國藩 | G 曹雪芹 | H 胡適 | I 陳独秀 | J 李鴻章 |
| K 魯迅 | L 孔尚任 | M 魏源 | N 劉永福 | O 袁世凱 |
| P 宋教仁 | Q 章炳麟 | R 李大釗 | S 康有為 | T 顧炎武 |
| U 錢大昕 | V 左宗棠 | W 丁汝昌 | X 郎世寧 | |

問 2 文中の下線部㉗～㉙に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の語群の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉗に関して、この皇帝の時代に清朝がロシアと結んだ、モンゴル方面での国境画定、国境での交易地の設置などを内容とする条約は何か。

[語 群]

- A ネルチンスク条約 B キャフタ条約 C イリ条約
D アイゲン条約 E カシュガル条約

(イ) 下線部㉘に関して、次のうち清朝の時代に書かれた作品でないものはどれか。

[語 群]

- A 『紅樓夢』 B 『聊齋志異』 C 『金瓶梅』
D 『桃花扇伝奇』 E 『長生殿伝奇』

(ウ) 下線部㉙に関して、道光帝を継いで第9代皇帝となり、アロー戦争、太平天国の乱に苦しんだのは誰か。

[語 群]

- A 咸豊帝 B 同治帝 C 光緒帝
D 嘉慶帝 E 順治帝

(エ) 下線部㉚に関して、義和団事件の講和で清朝は、11カ国と北京議定書(辛丑条約)を調印したが、その11カ国の中に含まれない国はどれか。

[語 群]

- A ベルギー B スペイン C アメリカ
D オランダ E ポルトガル

(オ) 下線部㊦に関して、満州王朝の打倒、共和国の建設などを目指して、孫文らが1905年に東京で組織した革命結社はどれか。

〔語群〕

- A 光復会 B 興中会 C 独立協会
D 中国同盟会 E 華興会

〔IV〕 次の文章を読み、下記の間 に答えなさい。

ローマ帝国が東西に分裂した結果生まれた西ローマ帝国が滅亡した後、ふたたび西ヨーロッパを統一したのはフランク王国であった。フランク王国は、5世紀後半に、クローヴィスが、小国分立の状態にあったフランク族を統一したことに始まる。その後、8世紀にカール＝マルテルがトゥール・ポワティエ間の戦いでイスラム勢力を破って実権を握り、そして751年に ① 朝が成立した。カール＝マルテルの孫、カール(シャルルマーニュ)は、ローマ教皇と対立していたランゴバルト王国を滅ぼしてイタリアの北半分を統一したほか、イベリア半島でイスラム軍と戦い、また東方からのアヴァール人の侵入を退けるなど武勇にすぐれ、王国の版図を拡大していった。このようなフランク王国の隆盛を知った教皇は、ビザンツ皇帝からの従属関係を絶つため、800年にサン＝ピエトロ大聖堂でカールに西ローマ皇帝の帝冠を授けた。これによって、カールはカール大帝となり、西ローマ帝国を受け継ぐこととなった。

① フランク王国はカール大帝の死後、混乱が生じ、843年および870年に締結された条約により東西フランクとイタリアの3つに分裂した。

その後、西フランクでは10世紀末に ① 朝の血筋は途絶えてしまい、パリ伯による ② 朝が開かれた。 ② 朝は当初は勢力が弱かったが、12世紀末に即位したフィリップ2世はイギリスのジョン王と戦ってフランス国内におけるイギリス領の大半を奪った。また、ルイ9世は、南仏諸侯の保護を受けていた ③ 派を征し、王権の範囲を南仏にまで広げた。さらに、フィリップ4世は、王権の支えとして聖職者、貴族、市民代表から構成される身分制議会である三部会を招集した。そして、王は聖職者に対する課税をめぐる三部会の支持を得て、教皇権の絶対性を主張して課税に反対したローマ教皇をローマ近郊で捕らえた(アナーニ事件)。また、フィリップ4世は、教皇をローマからフランス南東部のアヴィニョンに移転させた(教皇のバビロン捕囚)。以後、7代69年間にわたり、教皇はフランス王の監視下におかれることとなった。

12世紀のイギリスに目を転じてみると、 ④ 朝初代の王であるヘンリ2世は、フランスのアキテーヌ侯家との婚姻関係によって、フランス西部の大半

を有していた。しかし、ヘンリ2世の子リチャード1世は、十字軍遠征からの帰国途中、オーストリア大公の捕虜となったため、その身代金の支払いや、戦費負担に対する諸侯の不満は増大した。また、リチャード1世の後を継いだ弟ジョン王はフィリップ2世との戦いでフランス領土の大半を失っただけでなく、カンタベリー大司教選任問題でローマ教皇と争って破門された。さらにジョン王は、財政難から重税を課したため、貴族らはジョン王に反抗し、1215年にマグナ=カルタ(大憲章)を王に認めさせた。しかし、次のヘンリ3世がマグナ=カルタを無視したことから、フランス系貴族の⑤が反乱を起こして王を破った。その後、以前からの高位聖職者、大貴族による会議に、州および都市の代表者を加えて国政の協議を行うようになった。これがイギリス議会の起源とされ、1265年には議会700年祭が行われた。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われるものを下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

[語群]

- | | |
|------------|----------------|
| A ユグノー | B ボワティエ |
| C アルビジョワ | D メロヴィング |
| E カロリング | F ジャックリー |
| G オルレアン | H アベラール |
| I カペー | J ハノーヴァー |
| K ノルマン | L シュタウフェン |
| M ランカスター | N ヨーク |
| O プランタジネット | P ヴァロア |
| Q ハプスブルク | R クローヴィス |
| S ジャンヌ=ダルク | T ギュイエンヌ |
| U テューダー | V コルベール |
| W ステュアート | X シモン=ド=モンフォール |

問 2 文中の下線部㉑～㉔に関して、次の問(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の語群または選択肢の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉑に関して、『ローマ法大全』の編纂に際して中心的役割を果たした、東ローマの法学者は誰か。

[語 群]

- A ユスティニアヌス B トリボニアヌス C タキトゥス
D アウグスティヌス E キケロ

(イ) 下線部㉒に関して、宮廷に多くの学者を招くなど、カール大帝が文化を保護、奨励し文化復興運動がおこった。この運動の中心人物の1人で、『カール大帝伝』の著者は誰か。

[語 群]

- A アンセルムス B アインハルト
C アルクイン D ドゥンス＝スコトゥス
E トマス＝アキナス

(ウ) 下線部㉓に関して、カール大帝の子ルートヴィヒ1世の死後、彼の3人の子が、843年に締結された条約によりフランク王国を分割領有することとなった。この条約は何と呼ばれるか。

[語 群]

- A ユトレヒト条約 B メルセン条約
C ヴェルダン条約 D カルロヴィッツ条約
E ウェストファリア条約

(エ) 下線部㊦に関して、このローマ教皇は誰か。

〔語 群〕

- A ポニファティウス 8 世
- B レオ 3 世
- C ハインリヒ 1 世
- D ヘラクレイオス 1 世
- E フリードリヒ 2 世

(オ) 下線部㊧に関して、マグナ=カルタは課税には高位聖職者と大貴族の会議の承認を必要とすることなどを定めており、イギリス立憲政治の基礎になったといわれている。イギリス立憲政治に関する次の説明のうち、誤っているものはどれか。

〔選択肢〕

- A イギリス議会は、14世紀になって貴族院(上院)と庶民院(下院)で構成される二院制になった。
- B 1742年にウォルポールが首相を辞任したときから、内閣は国王に対してではなく、議会に対して責任を持つという責任内閣制が採用されることとなった。
- C イギリスには、成文の憲法典が存在しない。
- D 1689年の権利章典によって、議会主権に基づく立憲王政が確立した。
- E マグナ=カルタにおいて法の支配が定められたことを根拠として、1803年の最高裁判決により、世界で初めて違憲立法審査制が確立した。









